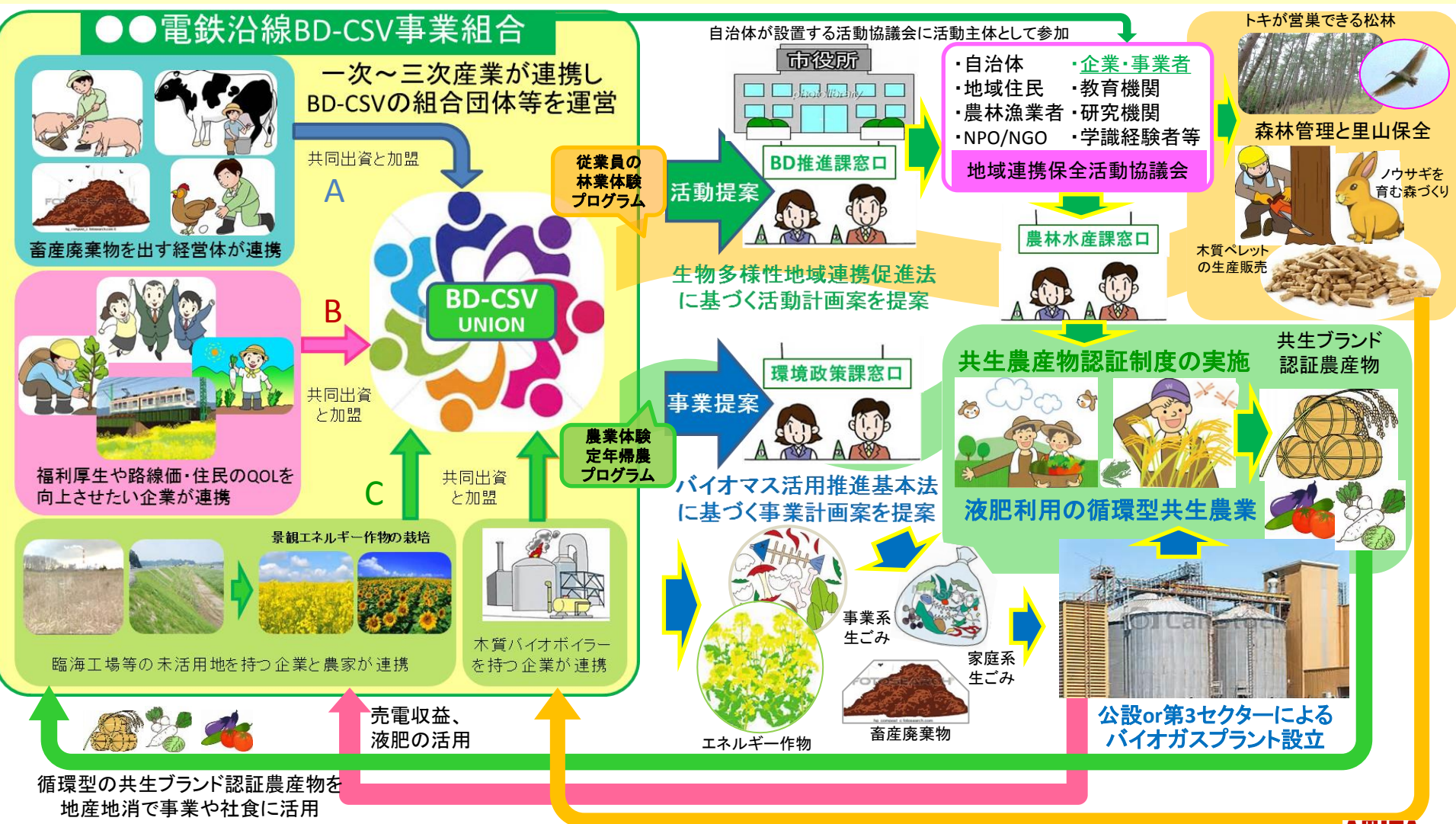


BD-CSV事業は、地域内の事業者が産業形態の枠組を越えた協働体制を作ると共に、自治体と連携ことでより多様な価値(資本)を地域に生み出すことが期待できます。

Ex: **A:事業者の生産活動(商品)におけるCSV** プラス
B:事業者の労働力(社員と福利厚生)におけるCSV プラス
C:事業者の資源(原料・エネルギー・土地)におけるCSV の場合の事業展開イメージ



トピック

BD-CSVを通じ地域の農業や林業への体験・技術獲得プログラムを導入することで、従業員の福利厚生と組織活性化、セカンドライフのキャリアプランにつながります。

従業員の心身の健康は企業の持続可能な事業経営の根幹をなすものです。社員のストレス対策や老後のキャリアプランにつながる体験・技術獲得プログラムを導入することにより、労働環境が向上し、有能な人材の確保や離職防止につながります。また、プログラムを通じて地域社会との人脈や愛着が生まれ、健全な労働意欲と共に市場顧客との親和性も高まります。



農機具の取扱い技術や刈払い機・チェンソー等の機具の資格取得プログラムを経て週末帰農や定年帰農のスキル獲得を実現します。



企業のOB・OGが生産する農産物を社食や社内生協等で利用することにより、安定的な生涯キャリアプランを提供することも可能になります。

連携先の地域においては、自治体支援事業*として循環型の共生農業の技術指導や実施体制構築支援、マーケティング支援、里山保全に係る認証制度という生物多様性の向上に資する付加価値化が導入され、企業組織と地域社会が協働で活性化していくためのプロジェクトが提供されます。

*企業のCSRとして地域支援事業を行うことも可能です。